

シルバー とちのは

第43号

令和5年1月15日



写真： 栃木県指定文化財の瀧澤家住宅（さくら市）
さくら市シルバー人材センターにおいて施設の管理を行っています。



もくじ

43号

- 新年のあいさつ … 2
- 令和4年度連合会事業報告 … 3
- 県SC女性の会活動状況 … 5
- センター紹介 … 6
- 会員紹介 … 9
- センターの活動 … 10
- お知らせ一覧 … 12

栃木県 月別会員数 (人)





新年のあいさつ

理事長 富田哲夫

シルバー人材センター会員並びに役職員の皆様には、平和で、穏やかな新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年末から、新型コロナウイルス第八波の感染者増に見舞われ、栃木県内の累計感染者数は30万人を超えました。6人に1人は感染した計算になります。幸い、重症化率は高くありません。換気やマスク着用にご注意しながら、できるだけ平常時の行動様式、生活様式に戻ろうという流れになっています。

そうした中で、昨年12月、約3年ぶりに、関東ブロックのシルバー人材センター連絡協議会が対面で開かれました。1都7県の連合会の理事長、事務局長が一堂に会し、昨今のシルバー人材センターを取り巻く情勢や動向、各都県の取組などについて意見交換がなされました。

会員の減少や高齢化といった状況はいずれも同様に見られる中、やはり大きな話題となったのは、本年10月から開始されるインボイ

ス制度への対応でした。各都県ともに、それぞれ工夫をこらし、傘下のセンターへの支援を行っている様子が窺われました。

消費税への対応のみならず、請負と派遣の業務形態の適正化などが指摘されたり、最近では会員の就業形態についての制度面の見直しの動きなどが示されたりして、ややもするとシルバー人材センター事業そのものが問われているようにも感じられます。しかし、このようなときだからこそ、単に高齢者が雇用されて働く、というのでは違って、シルバー人材センターはその原点に「生きがい就労」ということがあるんだ、ということをお忘れはならないと思います。

会員が就労を通して生きがいを見いだす、そのためにはこれからのシルバー人材センターはどうあるべきなのか、皆様と意見交換をし、協議を重ねながら、ともに進んで参りたいと考えています。今年も、皆様が元気に活躍され、良い年となりますようお祈りいたします。

表紙写真に寄せて

公益社団法人 さくら市シルバー人材センター

瀧澤家住宅とは？

瀧澤家住宅は、さくら市櫻野地区の旧奥州街道沿いにあります。平成10年(1998)年に歴史的な価値が認められ「鐵竹堂」「蔵座敷」「長屋門」の3棟が「瀧澤家住宅」として栃木県文化財に指定されました。これらの建物は明治時代から大正時代にかけて活躍した実業家・瀧澤喜平治によって建てられました。

「蔵座敷」「長屋門」の3棟が「瀧澤家住宅」として栃木県文化財に指定されました。これらの建物は明治時代から大正時代にかけて活躍した実業家・瀧澤喜平治によって建てられました。

長屋門 (表紙写真左下)

中央部には両開きの大扉を吊り、東側に通用門(潜門)を正面1階には出窓形式の武者窓が開かれています。門の飾り金具すべてに菊花が用いられていることから、鐵竹堂と同時期に建築されたと考えられています。

鐵竹堂 (表紙写真上)

明治33年に建設された客殿で、喜平治の雅号「鐵竹」から名付けられました。北側の庭園に面して4室をL字形に並べ、東側正面には御車寄と呼ばれる大きな張り出しがあります。主室は8畳間(御座の間)で、4寸の角柱、1間の床の間と違い棚、壁には貼り付け壁、天井は素木の格天井を用い、金地の襖には山水図が描かれるなど書院造の格式をもつ室内意匠となっています。

蔵座敷 (表紙写真右下)

洋風望楼を特徴とする象徴的建物です。明治20年建築の伝統的な土蔵造建物の屋根に明治25年頃、明治天皇行幸を機に望楼を増築したと考えられています。このような望楼は明治初期から中期にかけて広く普及しましたが、県内で現存するのはこの建物のみです。瀧澤家住宅は歴史的な建造物を見学できるほか、文化活動や交流の拠点として利用できる貸し出しスペースも用意されています。



令和4年度連合会事業について

連合会では、「第二期中長期計画（後期計画）」に基づき、着実な事業の実施に努め、各事業において関係機関と連携した積極的な事業を展開してきまして、令和4年度事業の実施状況を報告します。

会員拡大・普及啓発事業

会員の拡大事業では、会員維持増進に頭を抱える中、特に女性会員増の取組みを推進するため（公社）全国シルバー人材センター事業協会の取組みに呼応しながら、事業を推進してきた他、女性会員の活躍推進や入会促進に向け、「栃木県シルバー人材センター女性の会」の活動を本格的に始動し、会員自らのいきいきと輝く活動を発信してききました。

併せて、普及啓発活動において周知広報にも力を入れ、今年度はポ

**シルバー人材センター
事業普及啓発促進月間**
令和4年10月1日～31日

SILVER POWER

シニア世代の力がが必要です。
地域で一緒に活躍しましょう!

公益社団法人 シルバー人材センター
公益財団法人 栃木県シルバー人材センター連合会

▲普及啓発月間ポスター

お役にたちます。あなたのまちのシルバー人材センター

お仕事のお申込みは、お住まいのシルバー人材センターへお問い合わせください。

公益財団法人 栃木県シルバー人材センター連合会 電話 028-627-1179

▲仕事募集の横断幕

会員募集中

生涯現役！あなたの豊富な知識と経験を活かしませんか？

入会を希望される方は、お住まいの地域にあるシルバー人材センターへお問い合わせください。

公益財団法人 栃木県シルバー人材センター連合会 電話 028-627-1179

▲新規横断幕の作成

スターデザインの見直し、仕事募集横断幕の他、会員募集中の新たな横断幕の作成や広報先の開拓及び見直し、抽選方式による独自事業の配布など、より効果的かつ、県民の皆様への印象に残る広報活動を意識し実施してまいりました。

引き続き、会員の入会推進や退会抑制の拡大に繋がる取組みについて、他県の取組み等も参考にしながら各センターや会員の皆様に寄り添った事業の検討を行うと共に、会員の皆様のニーズに因應するため、就業開拓とセットで事業を推進してまいります。

安全・適正就業推進事業



図っております。

会員の就業は「安全はすべてに優先する」ことを基本とし、事故の撲滅及び就業の法令遵守の推進を

連合会では令和4年度の安全就業パトロールを県内7カ所において実施しました。パトロールでは就業環境及び、会員の安全対策の確認のため声掛けを行い、パトロール後は安全就業委員や役職員の方々と就業時における安全就業への取り組み、事故防止に向けた意見交換を行い、安全就業の意識付けに努めました。

また、令和3年度に発生した2件の重篤事故を受け、令和4年11月に（公社）全国シルバー人材センター事業協会から安全就業の取り組みに対する特別指導を受けました。2件の事故ともベテラン会員の、安全帽が着用されていない墜落による事故でした。安全帽の着用があれば重症化しない可能性があったのではとの

指摘を受け、植木剪定や刈払機の使用時には安全帽の着用は必須であると指導を受けました。慣れていない就業でも過信せず、常に就業条件に適した装備や手順で作業を行うようお願いいたします。

～安全パトロールの様子～



▲市貝町SC



▲小山市SC

「いつまでも 働く喜び 無事故から」
全国統一安全就業スローガン

就業開拓推進事業

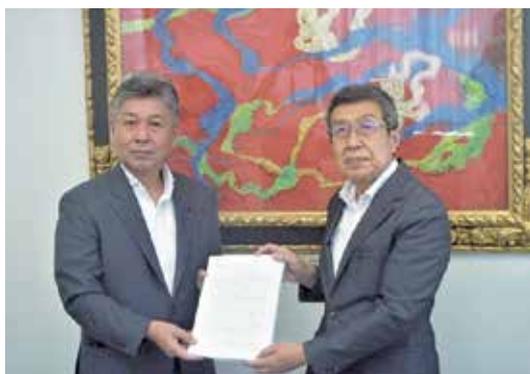
令和4年8月2日(火)から栃木県及び栃木県議会などの行政団体と経済・福祉・農林業分野の関係団体等14か所へ、シルバー人材センター事業に関する要望書を実施しました。

各団体へ(公社)全国シルバー人材センター事業協会の「地域社会に貢献するシルバー人材センターの決意と支援の要望」並びに(公財)栃木県シルバー人材センター連合会の「シルバー人材センター事業に関する要望」をお渡しし、より一層の理解促進と安定的な事業運営について、支援と御協力を依頼するとともにインボイス制度への理解を併せてお願い



▲栃木県保健福祉部福田次長に対し、栃木県知事あて要望書をお渡ししました。

いたしました。



▲山形修治栃木県議会議長に対し、栃木県議会あて要望書をお渡ししました。

高齢者活躍人材確保成事業

栃木労働局から受託し、入会促進を図るとともに、仕事への発注が期待できる企業等の開拓に取り組んでいます。

① 周知・広報

令和4年度は、シルバー人材センター事業をより広く周知・広報するため新聞や情報誌、新聞折込チラシなどの紙媒体を活用した広報活動を実施しています。また各市町の広報誌や栃木県のホームページにも技能講習開催のお知らせを掲載するなど、新たな取り組みも行いました。仕事の依頼の広報は、新聞広告によ

り企業のみならず、個人事業主や一般家庭も対象とし、広く周知しました。

② 就業体験

センターでの就業に関心のある高齢者を対象にした就業現場の見学や体験を実施し、12月末までに県内16か所にて合計40名の方が参加されました。

特に今年度は、入会すれば、見学、体験した仕事にすぐに就業できる請負事業や独自事業を極力選んで就業体験、見学を設定し、実施しました。

9月22日に宇都宮市シルバー人材センターの請負事業である「施設管

< 就業体験 >



施設管理 (宇都宮市)



施設の清掃 (下野市)



駐車場管理 (小山市)

理」は5名が参加、参加者からは「会員さんが丁寧に説明してくれた」「是非入会してみたい」と好評でした。

③ 技能講習

センターでの就業に必要な能力を身に付けてもらうための技能講習では、就業人員が不足している「学童保育支援」、「刈払機安全取扱」、「整枝・剪定」、「ハウスクリーニング」の4種類を令和3年度に引き続き実施、また介護業界の人手不足を補うべく新たに「介護支援入門」を加え、令和4年度は5種類の講習を延べ13回実施し、センターの会員76名を含め合計166名の方が受講され、盛況でした。

< 技能講習 >



整枝・剪定講習 (大田原市)



介護支援入門講習 (那須烏山市)



ハウスクリーニング講習 (那珂川町)

栃木県シルバー人材センター女性のお活動状況

「女性の会」代表 関根 浩子



「女性の会」は令和3年2月に発足してから数回の会議を開催し、今後の活動について話し合ってきました。

初めは、メンバーの所属、名前や顔を覚えるだけでも大変でしたが、何回か話し合いをしているうちに距離も縮まり率直な意見も交わせるようになってきました。

どのようにしたら、何を実施したら会員を増やせるか、特に女性会員を増やすための活動について話し合ってきました。

その結果、会のメンバーが所属するセンターの作品を展示し、即売会を開催してたくさんの方々に見に来てもらい、買ってもらう事によりセンターをもっと身近に感じてもらったかどうかという活動案が出され、栃木県シルバー人材センター連合会事務局にお世話になりながら、作品展示即売会を開催する事となりました。会員の方はもちろんで

すが一般の方々もぜひお誘い合せのうえご来場くださいますようお願い致します。

又、他の活動として令和4年10月13日(木)宇都宮シルバー人材センターの活動を視察してきました。

「編みぐるみ製作」で手編みの大小さまざまなカエルの人形製作販売を、そして「石鹸づくり製作」としてオリブオイルを使った石鹸作りを視察してきました。

可愛い色とりどりのカエルの人形には、すぐに手に取って財布の紐をゆるめ、オリブオイル石鹸は「一度使ってみてください」。その良さがわかりますよ!」の説明にメンバーたちは目を輝かせていました。

「女性の会」設立のためにはじめて出会ったメンバーと一緒に考え話し合いながら、ひとつの目的に向かって進むという経験を得た事に喜びを感じています。

皆さん、シルバー人材センターに加入してみませんか? 特に女性の方々、思っているより楽しい事、そして出合いがたくさんあります。一緒に活動しましょう。



▲石鹸作り



▲編みぐるみ製作

令和4年度栃木県シルバー人材センター連合会表彰

～受賞された団体/会員の皆さんおめでとうございます～

センター表彰

公益社団法人塩谷町シルバー人材センター

全シ協第2次100万人計画目標会員数(栃木県)の達成率が、95.0%以上の基準に該当したセンターを表彰しました。

会員表彰

県下センター117名

会員歴20年以上かつ他の模範として功績があった会員をセンターから推薦いただき表彰しました。



▲塩谷町シルバー人材センター 石下理事長…左
栃木県シルバー人材センター連合会 富田理事長…右

センター紹介

公益社団法人

那須町シルバー人材センター



那須町の紹介

那須町は栃木県の最北端に位置し、宇都宮市まで約60kmの距離にあります。

那須連山の主峰、標高1、915mの茶臼岳がそびえ、その南斜面には那須温泉郷が広がり、観光施設や別荘が点在する地域となっています。

当センターの特徴

那須町は農林畜産業と観光業が共生した地域で、農業支援や宿泊施設清掃、別荘の除草作業などの依頼が数多く入ります。

春の訪れと共に依頼される稲の種まき支援から始まり、田植え補助に畦畔の草刈り、秋には稲刈り後の籾殻袋詰めまで地元の農家さんからの作業依頼や、観光シーズンになると各種観光施設からも室内外清掃、除草剪定作業、皿洗いなど多くの依頼を受けています。

ふるさと納税事業

平成30年度より那須町と協力し、ふるさと納税の返礼品として「空き家・空き地見守り、草刈りサービス」を行っています。初年度は2件のみの依頼でしたが、令和3年度に



▲師走の風物詩「門松作り」

独自事業

は39件の依頼があり今年度も依頼が増えています。

冬期に門松作りを行っています。秋口から準備を始め松や藁、南天などの材料探しに奔走します。作業は12月に入ってから行われ寒空の中、一基ずつ丁寧に組み立てていきます。

「笑う門には福来る」竹の節に沿ってのこぎりを入れることにより、断面が笑っているように見せるのがこだわりです。



主査 鈴木 誠人
(平成26年4月採用)



私がセンターに採用されたのは、平成26年4月1日になります。前任者が退職するタイミングでの採用でした。採用当初は配分金など、聞いたことのない言葉を感じるのに苦労し、そこに国庫補助金の申請報告などの経理事務も加わり、右往左往しながら毎日を過ごしていたことを思い出します。

現在、思案しているのが、受注が減少する冬期の就業についてです。一年を通して安定した就業の場の確保や、新しい事業への取り組みが出来ないかと奮闘中です。

採用されて8年、日々勉強の毎日です。右往左往していた頃の初心を忘れずにセンター発展のため精進していきます。

センター紹介

公益社団法人

日光市シルバー人材センター



日光市は面積が栃木県の4分の1、全国で3番目に広い面積を持つ市です。この広い日光市には世界遺産の日光の社寺、ギネスブックに載る日光杉並木街道、足尾銅山などの史跡があります。また鬼怒川温泉をはじめ、川治、湯西川、奥鬼怒などの温泉に古くからたくさんの観光客が訪れてきました。



▲華厳の滝



▲日光杉並木

(写真はすべて日光市市勢要覧より)

日光市シルバー人材センターは、この広い日光市全体を範囲とする市道の巡回補修、広報紙配布などの業

務の他、学童保育、施設管理など、市からの受託が多く、事業所、家庭の植木剪定、草刈等がこれに続きます。地域の高齢化に伴う、高齢者世帯の暮らしのお手伝い、生活支援ホームヘルプサービス、病院への送迎の移送サービス事業も活発に取り組んでいきます。

独自の事業として杉並木観光ガイド、刃物研ぎ、手芸品、陶芸品の販売の他、保健所の許可を取って手打ちそばの製造販売も行っています。



▲学童保育事業



▲蕎麦打ち



植木業務担当 相場 智

「退職後どのように社会に奉仕・貢献していくのか?」 2021年12月31日付で、41年間勤務してきた会社を去る際の私の大きなテーマでした。3月に及ぶ、暗中模索の求職活動の末、ありがたいことに、本年4月1日より、日光市シルバー人材センターの契約職員として、植木剪定関係の受託業務に携わらせていただく機会をいただきました。

「新鮮な気持ちでスタート」

外資系自動車部品製造会社社の開発部門に長く席を置いていたため、早朝/深夜のWeb会議、多数の英文メール処理、国内外の出張等々に追われる日々から、電話やFAXによる日々の情報伝達、書類作成、回覧そして承認、更にお客様おひとりおひとりとの面直でのコミュニケーションシヨングと、今までほとんど経験してこなかったことが日常業務になり、暖かい職場の皆様のサポートもいただきながら、適度な緊張感と共にとても新鮮な気持ちでスタートすることができました。

「わくわく感」に突き動かされて

4月中旬より、お客様宅へ訪問し、見積りを作成するために、対象の樹木名、庭のレイアウト及びお客様の要望をまとめることが主要業務となり、庭園内の樹木名を覚えることに迫られました。新しい分野に入り込む時の「わくわく感」に突き動かされ、小学生時代に使っていた古い植物図鑑を持ち出し、週末には近くの植物園にも足を運び、樹木と接する機会を増やしていきました。

「お客様の言葉を、仕事の糧に」

7月からは、「受注・見積作成・契約・作業依頼・請求書送付」まで一貫した業務を担当するようになり、お客様からの「ありがとう」の言葉とともに、「辛辣なご意見や指摘」も直接いただくようになりました。こういったお客様からの言葉を仕事の糧として受け止め、真摯に向



▲お客様の要望を丁寧に聞く

きあうことで、これからの自分自身の向上、ひいては、当センターの発展の一助になるものと考えています。

センター紹介

公益社団法人

下野市シルバー人材センター



下野市は、都心から約85km圏、小金井駅・自治医大駅・石橋駅のJR3駅や、新4号国道など恵まれた交通網を有し、災害の少ない快適な住環境とも相まって、首都圏のベッドタウンとしても脚光を浴びていきます。

また、下野市の名称の由来となる、日本三戒壇の一つである下野薬師寺や、下野国分寺・国分尼寺が建立された古代東国地方の仏教・文化の中心地として栄えた歴史ある土地柄です。

国指定史跡下野国分寺・国分尼寺跡に整備された天平の丘公園では、



▲公園清掃の参加者

4月には「天平の花まつり」、11月には「天平の芋煮会」が開催され、賑わいを見せています。
センターでも、毎年、ボランティアで公園の清掃に汗を流して、地域の発展に貢献しています。

その昔、センターは街づくりの主役



▲健康ハイキング

旧町時代、センターは町のイベントを支え、施設の管理・清掃も一手に受けており、街づくりの主役でした。草むしりは専売特許で、大勢の女性会員が駆け付け、あつと言つ間に

片づけていました。「家で畑の草をおしつても一銭にもならんけど、ここに来れば、仲間との話が出来てお小遣いまで貰える。」と、笑い話も耳にしました。

兎に角、シルバー会員は笑顔が溢

れ、活き活きと輝いて見えました。

元気で明るいセンターを目指して

全国的に会員数が減少する中、当センターもピーク時に比べ約130名減少しています。

高齢者の雇用延長など、原因は様々ですが、センターとしても反省しなくてはなりません。

会員同士の会話を増やしたい、会員とセンター



▲パンづくり講習会



▲フラワーハンキングづくり

の繋がりを深めたい。その思いから、昨年度来、様々な事業に取り組んでいきます。健康ハイキングやパンづくり、フラワーハンキングづくりの講習会などを開催し、会員同士や、センター職員との会話のきっかけづくりに努めました。これからも

様々な事業に取り組みながら、元気で明るいセンターを目指します。

事務局職員奮闘記

PRの為なら何にでも挑戦

元気で明るいセンターでも新規会員が入らず、仕事が無くはお手上げです。新規会員の獲得と、就労機会の確保のためなら、どんな事にも挑戦することが必要です。

去年は、「市の消費者まつり」



▲消費者まつりでPR

に出展し、会員の手芸品、鳥の巣箱などの販売とセンターのPRをしました。また、市の「ミニコミュニティラジオ」FMゆうが「FMゆうがお」に出演、会員募集と業務案内を市民に向けて発信しました。



▲ラジオ出演の職員

今年、役員発案で「会員を増やし隊」

を結成、役員宅にセンターPR看板を設置します。

会員紹介

公益社団法人 大田原市シルバー人材センター

萩原 養一さん



当センターで活躍されている萩原養一さんを紹介します。



萩原さんは地元の会社を65歳で定年退職した後、毎日遊んでいてもしょうがないなと思っっているさなか、当時センター会員であった知人の紹介で、平成22年10月に大田原市シルバー人材センターに入会されました。

入会してから現在まで、公園や一般家庭の草取り・清掃作業等を勢力的に従事されています。また現在は野崎地区草取り班のリーダーを任されており、持ち前の明るさと人望でリーダーシップを発揮し、日々仕事に励んでくださっています。仕事のやりがいを感じ、毎日草取り班の会員と会って話をするのが楽しいこと、作業後にお客様からありがたうなどの感謝の言葉を頂くのが嬉しいとのこと。

萩原さんの趣味は7歳から始めた

鳩の飼育と5年前に引退するまで続けていた鳩レースです。今年の10月に栃木国体が開催されましたが、萩原さんは40年前に開催された栃木国体に北関東代表として鳩レースに出場されました。当時の大会では合計5、111羽の鳩が放たれました。萩原さんが飼育した鳩も10羽放たれ、なんとその中の1羽が全体で1番の記録を出し優勝したそうです。引退された現在も自宅の厩舎で約200羽の鳩を飼育しているとのこと。

今後もしルバーの仕事と趣味の鳩の飼育を思う存分楽しんで、人生を謳歌していただきたいです。



▲草取り作業

会員紹介

公益社団法人 益子町シルバー人材センター

梅野 信一さん



当センターで活躍されている梅野信一さんを紹介します。



▲襖張り

梅野さんは定年後、まだまだ体を動かし仕事をしたい、フルタイムはちよつと大変かもと思っっているとき、町の広報でシルバー人材センターのことを知り、名前は聞いたことはあるもののどのような仕事・活動をしているか一歩踏み出すのに不安を感じていました。

しかし説明会に参加してこれならできる、と入会されたそうです。

令和4年4月に入会してから先

輩達の指導のもと覚えが早く、現在までの数カ月で、陶器市の駐車場誘導係、次に剪定、運搬、表具公園の管理業務と仕事を次々こなしていく梅野さんです。

当センターの会員として高齢者の社会参加、生きがいの充実を構築され色々な面で活躍して頂きたいと思えます。

御夫婦共々共通の趣味の社交ダンスをし、家庭円満の心得もしっかりと身につけておられるようです。



当センターのモットー

『安全第一で』

明るく楽しいシルバー人材』

会員紹介

公益社団法人 上三川町シルバー人材センター

福田金平さん



当センターで活躍されている福田金平さんを紹介いたします。



▲刃物研ぎ

福田さんは自動車製造業の仕事を定年まで勤められた後、当センターに平成21年に入会しました。趣味で庭木の手入れをしていたので、植木剪定作業を仕事として選んで現在に至ります。趣味と仕事を合わせることで、約45年ほどの経験になるそうです。

「美しく仕上げる」ことを頭において常に仕事をしているようで、自分の理想どおりに植木が仕上がっていくことにやりがいを持っているとのこと。今後は後輩の会員に自分の技術を教えていければとのこと。

す。

また、仕事上で金属仕上げの経験があり、一級技能士の資格を生かし、独学で刃物研ぎの知識・経験を経て、今では刃物研ぎの仕事の依頼がある際は福田さん一手にお任せしており、非常に貴重な存在の会員さんであります。

福田さんは他にも民謡の伴奏で太鼓を演奏したり、民謡の音響機械を操作するのが趣味とのこと。民謡太鼓はその道の師匠に指導され、約40年ほどの経験になるそうです。民謡グループで演奏をして皆さんが笑顔で楽しんでもらえることが嬉しいとのこと。

仕事と趣味に多彩な才能がある福田さん、今後も益々の活躍を期待しています。



▲作業の様子

センターの活動

公益社団法人 那須烏山市シルバー人材センター

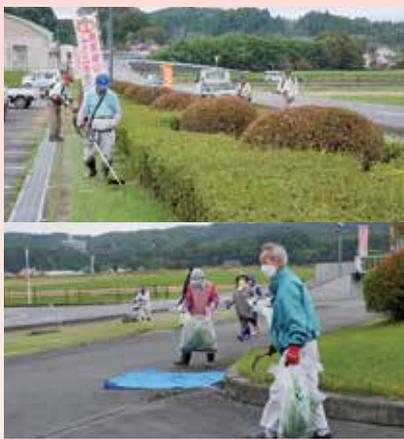


当センターでは今年度「普及啓発促進月間」事業として、奉仕作業とイベントへの協力事業を実施しました。

10月15日(土)には、市保健福祉センター周辺を、除草・芝刈り・草刈り・植木の剪定作業に約80名の会員が3時間程作業をしました。

当日は天候にも恵まれ、センターの旗を掲げてコロナ禍で低迷した業績回復の為にPR活動もしました。参加した会員には女性会員手作りの腕力バーが配られ大変喜ばれました。

11月6日(日)には、地元の「JAまつり」に刃物研ぎコーナーと



▲奉仕作業

小物販売コーナーを出店しました。刃物研ぎコーナーでは約50本の刃物を研ぎ、お客さんは興味深く刃物の研ぎ方を見学していました。



▲JAまつり

また小物販売コーナーでは、サークルぽけっとで製作した数々の小物を展示販売し、元気な売り嬢(婆?)達が当日の青空に負けず劣らずの澄んだ声でたくさんのお客さん呼び込んでいました。今後もこの御時世に負けないよう会員事務局一丸となって頑張っていきたいと思えます。

センターの活動

公益社団法人芳賀町シルバー人材センター



当センターでは、今年度より班長制度が始まりました。植木班、公園管理班、屋外作業班に分かれ計9班が活動しています。その中で班長はお客様や班員との連絡・調整、班員の健康状態の把握等不慣れなこともありますが、円滑に進められるよう取り組んでいます。

また高齢者の介護予防・生きがいづくり・閉じこもり防止を目的とした「生きがいサロン」では、町内16カ所で開催しており、町の委託事業として運営しています。新型コロナウイルスの影響による休止期間中には、スタッフ（会員）に協力していただき、実際に行っている体



▲班長会議



▲芳賀チャンネル 撮影中
(生きがいサロン 高橋麺'Z倶楽部)

操や作品の紹介を地元テレビ「芳賀チャンネル」で放送しました。例年10月は普及啓発促進月間の活動として、公共施設周辺において除草や剪定等の奉仕作業を実施、併せて道の駅では会員作品展を開催しています。しかし新型コロナウイルス感染症の終息が見えず、残念ながら中止となりました。町内に限らず、各地で少しずつ色々な行事が行われるようになってきましたので、次年度は開催できることを会員も職員も楽しみに願っています。

センターの活動

公益社団法人野木町シルバー人材センター



当センターでは、10月15日（土）毎年恒例の町内清掃奉仕活動と、普及啓発のポスティングを行いました。新型コロナウイルスの影響で参加者が減り続けていましたが今年度は増加傾向にあり全会員の20%の方が活動に参加していただきました。

またコロナ禍で中止になっておりました産業祭が11月6日（日）に開催され、会員がチラシ配布やアンケート調査を行い、紙細工作成や出張刃物研ぎコーナーに出展し、会場を盛り上げました。その他、独自事業としては、以前



▲書道教室



▲スマホ・パソコン講習

から行っていた刃物研ぎと近年立ち上げたスマホやパソコンの講習・書道の講習・生け花の講習・歴史散策勉強会など各種講習会の開催を行っております。

特に各種講習会は、経験のある会員が講師となり様々な講習を行っております。SNSでの宣伝を積極的に行い会場は満席状態です。

野木町在住者限定ではありませんので近隣にお住まいの方はお問い合わせください。

また現役時の知識や経験を活かした事業展開をサポートしますので、野木町在住の60歳以上の方は是非入会説明会に足を運んでみてください。



▲清掃奉仕活動



▲歴史散策勉強会

お知らせ

いきいき シルバー作品展示即売会の開催

女性の会のメンバー等が製作した作品の数々を展示します。また、女性の会のメンバー所属シルバー人材センターの会員等が作ったぬいぐるみや石鹸、アクセサリー、手打ち蕎麦の即売会も併せて行います。

御家族揃って是非お越しください！！

開催日時 令和5年2月10日(金)～12日(日) 10:00～17:00(最終日は15:00まで)

場所 アピタ宇都宮店2階催事場 宇都宮市江曾島本町22-7

主催 栃木県シルバー人材センター女性の会

内容 栃木県シルバー人材センター女性の会の作品展示及び販売



情報提供

派遣会員さん スキルアップ中!



派遣事業で就業する会員さんのスキルアップを図るため、今年度は初の試みとして県内7カ所(計8回)で講習会を開催しました。

各会場では職場でのコミュニケーションやビジネスマナーについて実技も交えての講習が行われ、約167名の会員さんが受講しました。



とちぎ健康の森会場

女性会議の開催

県内センターの女性役員・会員・職員を対象とした会議を開催します!

開催日 令和5年2月22日(水)

時間 13:30～15:30

主催 栃木県シルバー人材センター連合会

場所 とちぎ健康の森1階多目的フロア

内容 第1部/県内SCの事例発表
第2部/外部講師による笑いヨガ

※コロナの感染状況により開催を見合わせる場合があります。

企画広報委員

●松村 誠 委員長(栃木県シルバー人材センター連合会)

●山中 英幸 委員(佐野市シルバー人材センター)

●高津戸香里 委員(芳賀町シルバー人材センター)

●豊田 沙織 委員(真岡市シルバー人材センター)

●石川 朋彦 委員(壬生町シルバー人材センター)

●手塚 里恵 委員(さくら市シルバー人材センター)

●高瀬 直美 委員(那珂川町シルバー人材センター)

編集後記 企画広報委員会で新たにレイアウトや構成を練り直した、今回の「とちのは」はいかがでしたか?
企画広報委員会並びに執筆していただいた皆さん、御協力ありがとうございました。
シルバー人材センターの魅力が少しでも多くの方に届きます様に・・・

公益財団法人 栃木県シルバー人材センター連合会

〒320-8503

栃木県宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森内

TEL 028-627-1179



<https://www.tochigi-silver.jp/>

栃木県シルバー人材センター連合会

検索

ご存じですか? 「チエブクロー」



チエブクローとは・・・

「知恵袋」と「ふくろう」を合わせたシルバー人材センターの可愛いキャラクターです。

「チエブクロー」は優しく真面目でとても物知り!

経験豊富な高齢者の知恵が集まるシルバー人材センターにピッタリですね。